

リスニング・第4回

解答と解説

問題 番号 (配点)	設 問	解答番号	正 解	配 点	自 採 己 点
第1問 (25)	A	1	1	2	4
		2	2	3	4
		3	3	1	4
		4	4	2	4
	B	5	5	2	3
		6	6	1	3
		7	7	4	3
自己採点小計					
第2問 (16)	8	8	3	4	
	9	9	1	4	
	10	10	2	4	
11	11	1	4		
自己採点小計					
第3問 (18)	12	12	1	3	
	13	13	2	3	
	14	14	1	3	
	15	15	1	3	
	16	16	4	3	
17	17	2	3		
自己採点小計					

(注)*は、全部正解の場合のみ点を与える。

問題 番号 (配点)	設 問	解答番号	正 解	配 点	自 採 己 点
第4問 (12)	A	18	18	4	4*
		19	19	1	
		20	20	3	
		21	21	2	
		22	22	5	
	B	23	23	3	1
		24	24	2	1
		25	25	3	1
		26	26	1	4
		自己採点小計			
第5問 (15)	27	27	3	3	
	28	28	4	2*	
	29	29	2		
	30	30	1	2*	
	31	31	6		
	32	32	1	4	
33	33	3	4		
自己採点小計					
第6問 (14)	A	34	34	1	3
		35	35	3	3
	B	36	36	2	4
		37	37	4	4
自己採点小計					

自己採点合計

第1問

A

問1

【放送内容と選択肢】

I had a lot for dinner, so I can't possibly eat dessert.

- ① 話者はどのデザートを食べるべきか決められない。
- ② 話者はお腹がいっぱいなのでデザートは欲しくならない。
- ③ 話者は夕食の後にデザートを食べるかもしれない。
- ④ 話者はデザートを後で選ぶだろう。

正解 ⇒ ②

放送された英文は、「夕食をたくさん食べたので、とてもデザートは食べられない」という意味である。つまり、デザートを食べないので、正解は②。他の選択肢はデザートを食べることを示唆するため不適である。

【語句・表現】

- ・ cannot possibly do 「とても～できない」
- ・ full 「満腹の」

問2

【放送内容と選択肢】

Soccer practice is usually on Friday, but it's a day later this week.

- ① 話者は金曜日のサッカーの練習を休むだろう。
- ② 話者は金曜日のサッカーの練習に遅れて行くだろう。
- ③ 話者は土曜日にサッカーの練習があるだろう。
- ④ 話者は土曜日にサッカーの試合を見るだろう。

正解 ⇒ ③

放送された英文は、「サッカーの練習は通常金曜日だが、今週は1日後の日になる」という意味。つまり、今週の練習日は、金曜日の次の日である土曜日になるため、正解は③。

【語句・表現】

〈選択肢〉

- ・ be absent from ～ 「～を欠席する」

問3

【放送内容と選択肢】

I arrived in London last week to adjust to living here before classes started.

- ① 話者は授業が始まる前にロンドンに来た。
- ② 話者は先週、留学するためにロンドンを出た。
- ③ 話者は先週、休暇でロンドンに行った。
- ④ 話者は今週、ロンドンで授業を始める。

正解⇒①

放送された英文は、「私は、(学校の) 授業が始まる前にここでの暮らしに慣れるために、先週ロンドンに着いた」という意味である。複数形の classes は学校の「授業(全般)」を指し、その前にロンドンに来たので、正解は①。授業が始まる時期は不明なため、④は不適。

【語句・表現】

・ adjust to ~ 「～に慣れる・適応する」

問4

【放送内容と選択肢】

The train was crowded, so Bill and Ted gave their seats to an elderly couple.

- ① ビルとテッドは混雑した電車に乗れなかった。
- ② ビルとテッドは電車で他の人を座らせた。
- ③ ビルは電車で席をテッドに譲った。
- ④ テッドは電車で座れたが、ビルは座れなかった。

正解⇒②

放送された英文は、「電車が混んでいたため、ビルとテッドは座席を老夫婦に譲った」という意味である。これは、「他の人を座らせた」と言い換えられるので、正解は②。

【語句・表現】

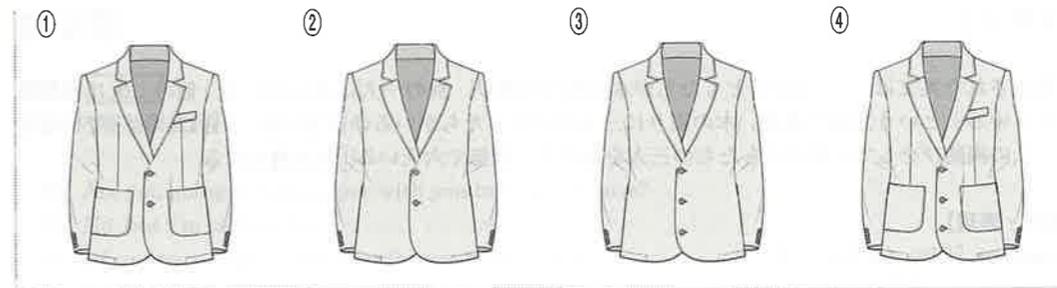
・ crowded 「混んだ」
 ・ give one's seat to ~ 「～に席を譲る」
 ・ elderly 「高齢の」
 ・ let A do 「Aに～させる」

B

問5

【放送内容と選択肢】

I'll take this one. I like the 2-button design with no pockets.



正解⇒②

放送された英文は、「これを買います。ボタンが二つでポケットのないデザインが気に入りました」という意味であり、正解は②。リスニングでは、数を表す表現(ここでは two と no)に注意して聞くようにしましょう。

【語句・表現】

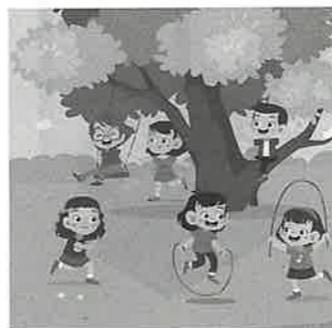
・ 2-button design 「ボタンが二つのデザイン」: 2-button は形容詞として使われているため、button は複数形にならない。

問6

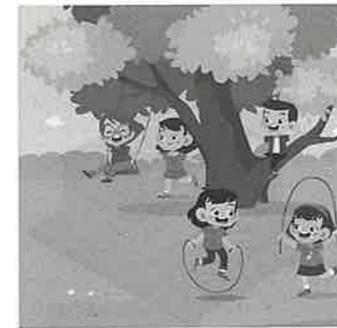
【放送内容と選択肢】

Three kids are playing around the tree, another is running, and two others are jumping rope.

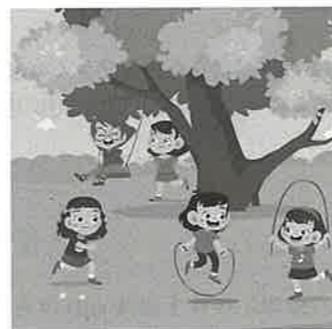
①



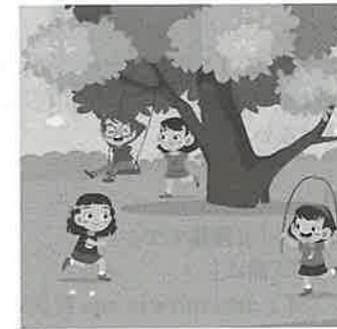
②



③



④



正解⇒①

放送された英文は、「三人の子どもたちが木の周りで遊び、別の一人は走っていて、他の二人は縄跳びをしている」という意味である。木の周りに三人の子どもたちがいるのは①と②。さらに、走っている子と二人の縄跳びをしている子どもたちの三人を加えて、全部で六人いる①が正解である。

【語句・表現】

- ・ another 「別の（もう）一人」
- ・ jump rope 「縄跳びをする」

問7 7

【放送内容と選択肢】

Your uncle's house is the one with two floors and some tall trees in the front.

①



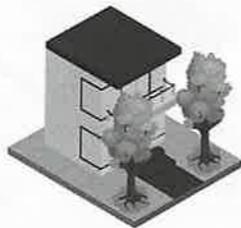
②



③



④



正解⇒④

放送された英文は、「2階建てで家の前に数本背の高い木があるのが、あなたの叔父さんの家です」という意味である。2階建ての家は①③④、家の前に複数の木があるのは④なので、正解は④。①と③の家の前に高い木はない。

【語句・表現】

- ・ with two floors 「2階建てで」
- ・ in the front 「正面に」

第2問

問8 8

【放送内容と選択肢】

M: Are you going to take paper with you to Yuka's house?

W: No, but I'm taking this.

M: Of course. That's your favorite one to write with.

W: And we might get thirsty, so I'll take these too.

Question:

What will the daughter take to Yuka's house?

M: 紙はユカの家を持って行くの？

W: いいえ、でも、これは持って行く。

M: もちろんそうだろうね。一番気に入っている筆記用具だね。

W: それと、喉も渇くかもしれないから、これも持って行くわ。

問い：

娘はユカの家は何を持って行くのか。

①



②



③



④



正解⇒③

娘の発言の this が指すもの（単数）は、その後の父親の発言 one to write with 「書くためのもの（=筆記用具）」から、筆だとわかる。また、娘の最後の発言にある these は2本のボトルに入った飲み物

(複数)を指す。このことから、娘は、お気に入りの筆と複数の飲み物を持って行くつもりであるとわかるので、正解は③。

【語句・表現】

- ・ write with ~ 「～で書く」
- ・ get thirsty 「喉が渴く」

問9 9

【放送内容と選択肢】

W: The station is crowded. I can't find you, Chris.

M: I'm wearing a long winter coat.

W: Okay. And are you wearing a hat too?

M: No, but I have my sunglasses on.

Question:

Which picture is Chris?

W: 駅が混んでいて、あなたを見つけられないわ、クリス。

M: 丈の長い冬用のコートを着ているよ。

W: わかった。あと、帽子をかぶっている？

M: 帽子をかぶっていないけど、サングラスをかけているよ。

問い:

どの絵がクリスか。



正解 ⇒ ①

クリスは、long winter coat 「丈の長い冬用のコート」を着ていると言い、次に帽子についての質問にはNoと答え、サングラスをかけていると返答している。したがって、正解は①である。

【語句・表現】

- ・ have A on 「Aを身に着けている」

問10 10

【放送内容と選択肢】

M: Can we take Max with us to the art museum?

W: The website says dogs are allowed inside.

M: Great! I want to take photos of him with some paintings.

W: Unfortunately, it says you can't photograph the art.

Question:

Which picture shows what they are looking at?

M: マックスを美術館に連れて行ける？

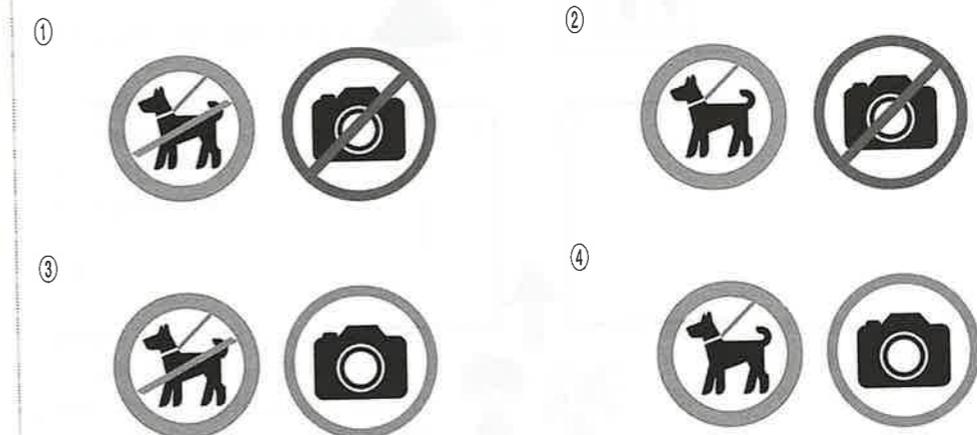
W: ウェブサイトには犬も入れるって書いてあるね。

M: やった！ マックスの写真を絵と一緒に撮りたいんだ。

W: 残念だけど、作品の写真を撮ってはいけないと書かれているわ。

問い:

どの絵が、彼らが見ているものを示しているか。



正解 ⇒ ②

母親の最初の発言から、犬を連れて入ることが可能だとわかる。母親は次の発言で「美術品(作品)の写真を撮ることはできないと書いてある」と答えていることから、彼らが見ているのは②の絵である。

【語句・表現】

- ・ say (that) S V 「～と書いてある」
- ・ unfortunately 「残念ながら」
- ・ photograph 「～の写真を撮る」

問11 11

【放送内容と選択肢】

W: Excuse me. Can you tell me where the shoe section is?

M: Straight ahead on the right, across from the bathrooms.

W: Just at the corner?

M: No, it's at the end, after the dress section.

Question:

Where is the shoe section?

W: すみません、靴売り場はどこか教えてもらえますか。

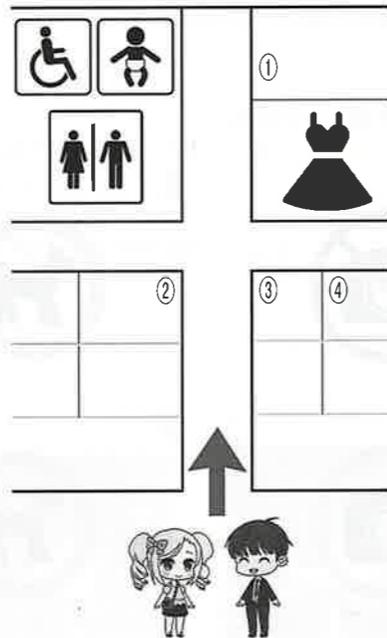
M: 真っすぐ行って右手、化粧室の向かいにあります。

W: その角ですか。

M: いいえ、ドレス売り場の先の、突き当たりです。

問い:

靴売り場はどこか。



正解 ⇒ ①

靴売り場がどこか尋ねる女性に、男性（店員）が Straight ahead on the right と言っているので、真っすぐ進んだ右手にあることがわかる。across from the bathroom と言われた女性は、手前の角か、その向こうの突き当たりの右手かを確認し、男性が「突き当たり」で「ドレス売り場の先」と言っていることから、正解は①。

【語句・表現】

- ・ straight ahead 「真っすぐ先に（で）」
- ・ on the right 「右手に」
- ・ across from ~ 「～の向かいに」
- ・ bathroom 「化粧室、トイレ」
- ・ at the end 「突き当たりに」

第3問

問12 12

【放送内容と選択肢】

M: When did you want to have lunch together?

W: I'm off this Friday. How about then?

M: That's no good for me. I work until five.

W: Well, I'm free again on Sunday.

M: I have plans all day. Maybe dinner another day is better.

W: Let's do it on Friday after you finish work.

M: いつ昼食を一緒に食べたいって言っていたかな？

W: 今週は金曜日休みなの。その日はどうかな？

M: その日はダメだ。5時まで仕事がある。

W: それじゃあ、私は日曜日も空いているよ。

M: その日は一日中予定があるんだ。別の日の夕食の方がいいかも。

W: 金曜日、あなたの仕事が終わった後にしよう。

二人はいつ一緒に食事をするだろうか。

- ① 金曜日の夕食
- ② 日曜日の夕食
- ③ 金曜日の昼食
- ④ 日曜日の昼食

正解 ⇒ ①

男性が、以前話題にしていたと思われる昼食の予定について尋ね、女性が自分の空いている日を伝えている。女性が金曜日（の昼食）を提案したのに対して、男性はダメだと答え、次に提案された日曜日も予定があるため、日曜日以外の夕食の方がいいかもしれない、と発言している。女性がそれに同意して金曜日にしようと言っていることから、正解は①。

【語句・表現】

- ・ off 「休みで」
- ・ no good 「だめな」：いわゆる「NG」のこと。
- ・ all day 「一日中」

問13 13

【放送内容と選択肢】

W: Were you able to buy tickets to the concert?

M: Not yet. It keeps giving me an error.

W: Have you checked that your information is correct?

M: Yes, but it still isn't working.

W: Look! Your credit card was only good through November. Today is December 1st!

W: コンサートのチケット、購入できた？

M: まだだよ。エラーが出続けている。

W: 自分の情報が正しいか確認した?

M: うん、でもまだダメだ。

W: 見て! あなたのクレジットカード、11月末が有効期限だったのよ。今日は12月1日よ!

男性は、どのようなことに困っているのか。

- ① 自分の情報を入力できない。
- ② クレジットカードがもう使用できない。
- ③ チケットは12月まで購入できない。
- ④ チケットは11月で完売してしまった。

正解 ⇒ ②

男性がコンサートチケットを購入しようとしているが、エラーが出続けて次のステップに進めない状況になっている。女性が最後の発言で *Your credit card was only good through November* とクレジットカードの有効期限が切れていたと言っているので正解は②。

【語句・表現】

- ・ ticket to ~ 「~の券」
- ・ keep *doing* 「~し続ける」
- ・ give A an error 「Aにエラーメッセージを出す」
- ・ work 「(機械などが) 動く」
- ・ good 「有効な」: 叙述的用法の形容詞として用いられる。
- ・ through 「~の終わりまで」

〈問い〉

- ・ have trouble with ~ 「~に苦勞する」

〈選択肢〉

- ・ be sold out 「売り切れている」

問14 14

【放送内容と選択肢】

M: Would you like to go camping this weekend?

W: That sounds great, but what will the weather be like?

M: It's supposed to be cloudy on both Saturday and Sunday.

W: Well, I'll go as long as it doesn't rain.

M: According to the weather report, there's no chance of rain.

M: 今週末キャンプに行かないかい?

W: いいわね、でも天気はどんな感じかな?

M: 土日とも曇りみたいだよ。

W: そうね、雨が降らないなら行くわ。

M: 天気予報によると、雨が降る可能性はないって。

女性はどのように考えられるか。

- ① 彼女は両日のキャンプ旅行に行く。

② 彼女は雨がやんだら友達と合流する。

③ 彼女は旅行の最初の日だけ行く。

④ 彼女は旅行には参加せずに家にいる。

正解 ⇒ ①

男性から、週末にキャンプに行くかどうかを尋ねられて、女性が天気について質問している。男性の応答から、土日のキャンプ旅行だという情報が得られ、女性が *I'll go as long as it doesn't rain.* と答えていることから、女性は雨さえ降らなければキャンプに行くつもりであることがわかる。男性の最後の発言から、雨は降りそうにないので、正解は①である。

【語句・表現】

- ・ go camping 「キャンプに行く」
- ・ sound 「~に聞こえる、~と思われる」
- ・ What be S like? 「Sはどのようなものか」
- ・ be supposed to be ~ 「~になるはずだ」
- ・ cloudy 「曇った」
- ・ as long as S V 「~な限り」: ≡ if S V.
- ・ there's no chance of ~ 「~の見込みはない」

〈問い〉

- ・ be likely to *do* 「~しそうである」

〈選択肢〉

- ・ go on a trip 「旅行に行く」
- ・ join 「~に参加する」
- ・ the first day of ~ 「~の初日」

問15 15

【放送内容と選択肢】

W: You don't seem to be in a good mood.

M: I just finished my big math exam.

W: Was it really that bad?

M: No, I think I did fine. I just stayed up all night studying.

W: That would put anyone in a bad mood.

W: 機嫌が悪くなさそうだね。

M: 数学の大事なテストが終わったところでね。

W: そんなにできなかったの?

M: いや、結構できたと思う。ただ徹夜して勉強したんだ。

W: そりゃあ誰でも機嫌が悪くなるね。

男子生徒が抱えている問題は何か。

- ① 彼はテストの前夜、眠らなかった。
- ② 彼は数学のテストはもっと簡単だと思っていた。
- ③ 彼は勉強し過ぎたことで時間を無駄にしたと感じている。
- ④ 彼は数学のテストで悪い点数を取ったと思っている。

正解⇒①

女子生徒の「数学のテストができなかったのか」という質問に対して、男子生徒が応答の中で I just stayed up all night と発言している。これが彼の bad mood の原因なので、正解は①である。

【語句・表現】

- ・ be in a good mood 「機嫌が良い」
 - ・ math 「数学」: = mathematics.
 - ・ exam 「試験」: = examination.
 - ・ do fine 「うまくやる」
 - ・ stay up all night 「徹夜する」
 - ・ put A in B 「AをB (の状態) にする」
- (選択肢)
- ・ expect A to be ~ 「Aが~だと思う」
 - ・ waste 「~を無駄にする」
 - ・ by doing 「~することによって」
 - ・ get a ~ score 「~な点数を取る」
 - ・ on the test 「テストで」

問16 16

【放送内容と選択肢】

- M: What should we get Mom and Dad for their anniversary?
 W: How about a new purse and a new wallet?
 M: Mom has enough purses, though.
 W: Then let's get them something they can enjoy together.
 M: That's a much better idea.
 W: Well, they both love watching movies.
 M: True. They might like that new comedy.
- M: お父さんとお母さんの(結婚)記念日に何を買おうか。
 W: 新しい小銭入れと新しい財布はどうか?
 M: お母さんはもうたくさん小銭入れを持っているけどなあ。
 W: じゃあ、何か二人で楽しめるものをあげよう。
 M: そっちの方がずっと良い案だね。
 W: そうね、二人とも映画を見るのが好きだよ。
 M: そうだね。あの新作のコメディ、気に入るだろうね。

兄妹は両親のプレゼントに何を買うだろうか。

- ① 映画の券1枚と新しい財布
- ② 新しい小銭入れと新しい財布
- ③ 二人それぞれに新しい財布
- ④ 新作映画の券2枚

正解⇒④

両親の結婚記念日に贈るものとして、妹が、それぞれに新しい小銭入れと財布を買うことを提案するが、

母が小銭入れをたくさん持っているため、その案は却下される。妹が something they can enjoy together と別の提案をして、それに兄が同意した後の発言から正解が導き出せる。妹の movies や兄の new comedy などから二人が両親に映画の券を贈ること考えられるので正解は④。

【語句・表現】

- ・ anniversary 「記念日」: ここでは両親の記念日なので、「結婚記念日」のこと。
- ・ How about ~? 「~はどうですか」
- ・ purse 「小銭入れ、(がま口付きの)財布」
- ・ though 「でも、けれど」: ここでは副詞として使用されている。
- ・ get A B 「AにBを買ってあげる」

問17 17

【放送内容と選択肢】

- W: Thank you for staying with us, sir. How was your room?
 M: The bed was bigger than I expected, and comfortable too.
 W: I'm happy to hear that.
 M: The bathroom was very clean too, but ...
 W: Something wrong, sir?
 M: I wish there had been a place for me to do my work.

- W: ご宿泊いただき、ありがとうございます。お部屋はいかがでしたか。
 M: ベッドは思っていたより大きくて、寝心地も良かったです。
 W: それはよかったです。
 M: バスルームもとてもきれいでした。でも…
 W: 何かお気に召さなかったでしょうか。
 M: 仕事をする場所があったらよかったですね。

男性が、ホテルの部屋について気に入らなかったことは何か。

- ① 喫煙する場所がなかった。
- ② 仕事をする場所がなかった。
- ③ バスルームが汚れていた。
- ④ ベッドの寝心地が悪かった。

正解⇒②

ホテルのマネジャーに滞在の感想を聞かれ、男性は、まずベッドについて、次に浴室について満足した旨を伝えている。男性の発言の but ... 以降がホテルに対する不満であり、最後の文の I wish ~ 「~だったらよかった」から、正解は②。

【語句・表現】

- ・ stay with ~ (人) 「~ (のところに) 滞在する」
 - ・ Something wrong? 「何か問題でも?」: Is (または Was) (there) something wrong? の口語表現。
 - ・ I wish (that) + 仮定法過去完了表現 「~だったらよかったのに」: 過去に起こってしまったことや過去の事実に対して、その逆のことを願う表現。
- (選択肢)
- ・ space 「場所」: 不可算名詞なので単数扱い。

・uncomfortable 「心地よくない」

第4問

A

問18~21 18 19 20 21

【放送内容と選択肢】

I had a terrible day last week. One thing after another kept going wrong. At breakfast, I spilled coffee on my shirt, so I had to put on a new one. Because of that, I missed my usual train. While waiting for the next one, I tried to buy a drink, but I didn't have my wallet. It had fallen out of my bag on the way to the station. After I finally got to school, the gate was closed and no one else was there. I checked my phone, and it was Sunday. I never want to have a day like that again!

先週ひどい一日を過ごしました。次々と悪いことが起こったのです。朝食時にシャツにコーヒーをこぼしてしまったので、新しいシャツに着替えなければなりません。そのせいで、いつもの電車に乗り遅れてしまいました。次の電車を待っている間に飲み物を買おうとしたら、財布がありませんでした。駅に向かう途中でバッグから落ちてしまったのです。ようやく学校に着くと、門が閉まっていて誰もいませんでした。携帯電話を確認すると、その日は日曜日でした。あの日のような体験は二度としたくありません！

①



②



③



④



正解 ⇒ 18 ④ 19 ① 20 ③ 21 ②

出来事を描いたイラストを時系列に沿って並べ替える問題。「私」が、問題が立て続けに起こった日の体験について語っている。財布を落とした (had fallen out: 大過去) のは、電車に乗り損ねたり、飲み

物を買おうとしたりする (missed ... / tried to buy ... : 過去) ことよりも前だったことに注意。出来事の順番は、④朝食時にコーヒーをこぼす→①駅に向かう途中で財布を落とす→③いつもの電車に乗り遅れる→②日にちを確認するとなる。

【語句・表現】

- ・terrible 「ひどい」
- ・one thing after another 「次々と」
- ・go wrong 「失敗する, うまくいかない」
- ・spill A on B 「BにAをこぼす」
- ・put on ~ 「~を着る」
- ・miss 「~に乗り遅れる」
- ・fall out of ~ 「~から落ちる」
- ・on the way to ~ 「~に行く途中に」
- ・get to ~ 「~に到着する」

問22~25 22 23 24 25

【放送内容と選択肢】

These are the results of last month's survey. Boys in Senior 1 get 7 hours of sleep, which is the same as Senior 3 girls. On the other hand, Senior 1 girls get at least 9 hours of sleep on average. A majority of girls in Senior 2 sleep for around 8 hours, while most of the boys in the same grade sleep for only 6. Senior 3 boys get the least amount of sleep, with an average of less than 5 hours per night.

これは先月の調査結果です。高1男子の睡眠時間は7時間で、これは高3女子と同じです。一方、高1女子は少なくとも平均9時間は睡眠を取っています。高2女子の大多数は約8時間寝ていますが、同じ学年のほとんどの男子は6時間しか寝ていません。高3男子は睡眠量が最も少なく、平均5時間未満です。

睡眠習慣の調査結果

学年	性別	1日の睡眠時間
高1	女子	22
高1	男子	23
高2	女子	約8時間
高2	男子	24
高3	女子	25
高3	男子	5時間未満

- ① 5時間以下
- ② 6時間
- ③ 7時間
- ④ 8時間
- ⑤ 9時間以上

正解⇒ 22 ⑤ 23 ③ 24 ② 25 ③

放送された英文では、まず、高1男子の睡眠時間と、同じ睡眠時間である高3女子について言及し、その後、高1女子、高2男女、高3男子の順に説明されている。高1女子の睡眠に関しては、at least 9 hours of sleep「少なくとも9時間は眠っている」から⑤「9時間以上」、最初に言及された高1男子は7 hours of sleepから③「7時間」である。高2男子はA majority of girls in Senior 2...から始まる文のwhile以降に、②「6時間」とある。高3女子は高1男子と同じ睡眠時間なので、③「7時間」が正解である。

【語句・表現】

- ・ survey 「調査」
- ・ senior 「高校生」
- ・ on the other hand 「一方」
- ・ on average 「平均で」
- ・ a majority of ~ 「~の大多数」
- ・ while S V 「~であるが」: 対比, または譲歩を表す表現。
- ・ per 「~につき」: per night 「一晩につき」 (= a night)。
- 〈表〉
- ・ habit 「(個人の) 習慣」
- ・ gender 「(社会的) 性差, 性別」

B

問26 26

【放送内容と選択肢】

- ① I really enjoyed Anaheim when I went there. There was a lot of international food, and it was all delicious. The weather was also warm from late morning to early evening. Most places were crowded, such as the theme parks, but Yorba Regional Park was a great place where I could enjoy a quiet walk out in nature.
- ② Kakslauttanen is my recommendation. The snowy landscape was beautiful. You can enjoy quiet nights in a private room. The room has a glass ceiling and walls so that you can watch the aurora from your bed! The Finnish food was also wonderful, with some great meat dishes and pies.
- ③ Manila was my favorite place in winter. It was hot like summer, so I wore T-shirts every day. If you go to the Camayan Beach Resort, you can enjoy group activities like hiking or you can just sit alone along the beach. I thought the food was pretty average, but I still had a great time.
- ④ I think you should try Sydney. It will be summertime there, so you don't need to pack a coat. The popular places, like the Sydney Opera House and the Taronga Zoo, were crowded.

However, the shrimp and lamb that I ate there were the best I have ever had!

- ① アナハイムに行って、本当に楽しかったです。世界の料理がたくさんあって、どれもおいしかったです。天気も、朝遅くから夕方頃まで暖かったです。テーマパークなどほとんどの場所が混雑していましたが、ヨーバ・リージョナル・パークは自然の中を静かに散歩を楽しめる素晴らしい場所でした。
- ② カクシラウッタネンが私のお勧めです。雪景色がきれいでした。個室で静かな夜を過ごせます。天井と壁はガラス張りなので、ベッドからオーロラを眺められます！フィンランド料理も素晴らしく、とてもおいしい肉料理やパイもありました。
- ③ マニラが私の冬のお気に入りの場所でした。夏のように暑く、毎日Tシャツを着ていました。カマヤン・ビーチリゾートに行くと、ハイキングのようなグループアクティビティーを楽しむことができますし、一人で海岸沿いにただ座ることもできます。食べ物はかなり平均的だと思いましたが、それでも素晴らしい時間を過ごしました。
- ④ シドニーを試してみるべきだと思います。現地は夏だと思うので、コートを持って行く必要はありません。シドニー・オペラハウスやタロンガ動物園のような人気のある場所は混んでいました。でも、そこで食べたエビとラム肉は今まで食べた中で一番おいしかったです！

正解⇒①

最もふさわしいのは①のアナハイムである。②のカクシラウッタネンは雪景色やオーロラについての言及から、気温が低いと考えられるため条件Aに合わず、③のマニラは食べ物が平均的なことから条件Bに、④のシドニーは観光地で他の場所は混んでいたとあるので条件Cにそれぞれ合わない。

場所	条件A (日中暖かい)	条件B (食事がおいしい)	条件C (一人でリラックス)
① アナハイム	○	○	○
② カクシラウッタネン	×	○	○
③ マニラ	○	△	○
④ シドニー	○	○	×

【語句・表現】

- ・ Anaheim 「アナハイム」: アメリカ・カリフォルニア州にある都市。
- ・ regional 「地域の」
- ・ crowded 「混み合った, 混雑した」
- ・ such as ~ 「~のような」
- ・ (out) in nature 「自然の中で」: out は室内ではなく「外」を示している。省略可能。
- ・ Kakslauttanen 「カクシラウッタネン」: フィンランドのラップランド地方にある宿泊施設。
- ・ recommendation 「推薦 (するもの)」
- ・ snowy 「雪に覆われた」
- ・ landscape 「景色」
- ・ ceiling 「天井」
- ・ so that S V 「~するように」: 目的を表す表現。Vの前に助動詞 (can, will など) が入ることが多い。ここでも目的の意味で使われているが、「オーロラを眺められる」ということに対して「！」が付いているので、英語の語順のまま訳出した。

- ・ aurora 「オーロラ」
- ・ Finnish 「フィンランドの」
- ・ Manila 「マニラ」：フィリピンの首都。
- ・ alone 「一人で」
- ・ pretty 「かなり」：≒ quite, rather.
- ・ average 「平均」
- ・ still 「それでも」
- ・ have a great time 「素敵な時間を過ごす」
- ・ Sydney 「シドニー」：オーストラリア南東部の都市。
- ・ summertime 「夏季」
- ・ pack 「～を荷造りする」
- ・ shrimp 「エビ」
- ・ lamb 「ラム肉」

第5問

【放送内容】

Today we'll be talking about the increase in remote and hybrid work models at companies. Are you familiar with these types of models? Remote work models are ones in which employees do all their work at home. Hybrid work models, on the other hand, are ones in which employees spend some of their working hours carrying out their tasks remotely while the rest is spent in person at the office.

Both types of models became more popular due to the COVID-19 pandemic. Since then, a lot of research has been done on the benefits of these models for both workers and their managers. For example, we know that both types of models offer workers greater flexibility in their work and cause less stress and burnout. Meanwhile, companies have reported higher productivity among workers and a more efficient use of their time.

These models do have some negative aspects, of course. For one thing, workers have less access to company resources and equipment. They also cannot work together as easily and may feel disconnected from their company's culture. Managers also have less ability to monitor their workers and offer help when necessary. It is also more difficult for them to identify workers who deserve recognition, such as promotions or salary increases.

Despite some of the disadvantages, a majority of US companies have already adopted either a fully remote or hybrid work model, or plan to use one in the near future. This means that our ideas about work and work-life balance are sure to change in the coming years. While some countries may be slower than others to move to these work models, in the future, fully in-person jobs will be rarer than other work models everywhere.

今日は、企業におけるリモートワークモデルとハイブリッドワークモデルの増加についてお話しします。これらのモデルについてご存じでしょうか。リモートワークモデルは、従業員が全ての仕事を自宅で行うという就業形態です。一方、ハイブリッドワークモデルは、従業員が勤務時間の一部をリモートで仕事をするのに使い、残りの時間はオフィスで対面式勤務をするという就業形態です。

どちらのタイプのモデルも、新型コロナウイルス感染症の流行により広まりました。それ以来、従

業員・マネジャーの両者にとってのこれらのモデルの利点について多くの研究が行われてきました。たとえば、どちらのタイプのモデルも、従業員の仕事の自由度を高め、ストレスや極度の疲労を減らすことがわかっています。一方、企業側は、従業員の生産性が向上し、彼らが時間をより効率的に活用していると報告しています。

もちろん、これらのモデルにはいくつかのマイナス面があります。一つは、従業員の会社のリソースや設備へのアクセスが少なくなることです。また、以前ほど容易に一緒に働くことができず、自分が働く会社の文化へのつながりを感じないかもしれません。マネジャーたちは、従業員をチェックし、必要に応じて支援を提供することもあまりできなくなります。昇進や昇給などの評価に値する従業員を確認することもより困難になります。

これらの欠点にもかかわらず、アメリカ企業の大多数はすでに完全なリモートワークモデルかハイブリッドワークモデルを採用している、もしくは近い将来にどちらかを利用する予定です。これは、仕事やワークライフバランスに関する私たちの考えが、今後数年間で確実に変化することを意味します。これらのワークモデルへの移行が他の国よりも遅れている国もありますが、将来的には、世界中で完全な対面式勤務は他のワークモデルよりもまれになるでしょう。

【ワークシート】

リモートワークモデルとハイブリッドワークモデル

- リモートワークモデル
 - 定義：従業員が完全に自宅で仕事をするモデル

- ハイブリッドワークモデル
 - 定義：従業員が するモデル

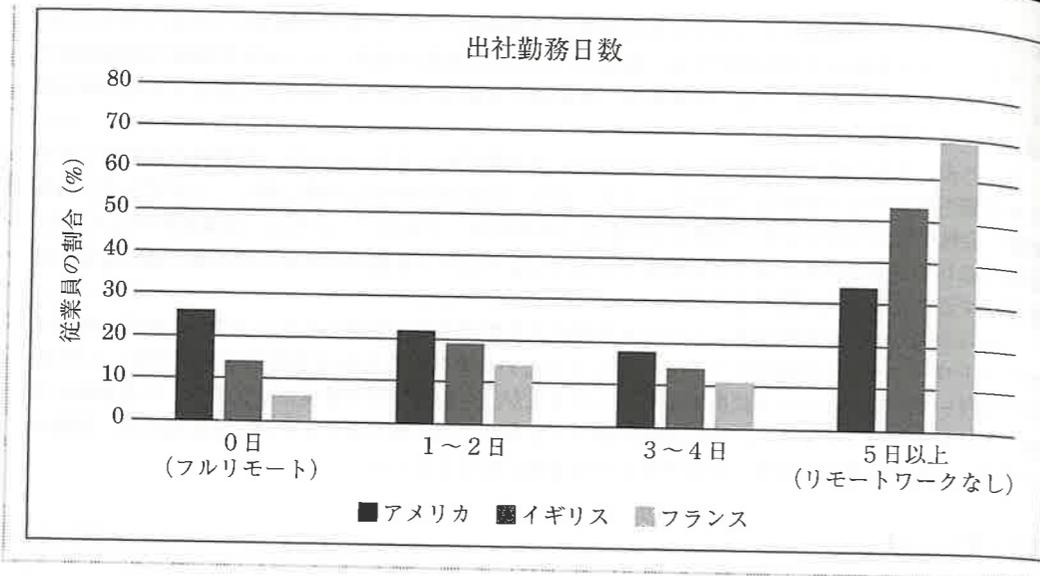
○ 利点と欠点

	利点	欠点
従業員	● 自由度の向上 ● <input type="text" value="28"/>	● <input type="text" value="29"/> ● リソースへのアクセスの減少
管理職	● より生産的な従業員 ● <input type="text" value="30"/>	● 従業員の監督が難しい ● <input type="text" value="31"/> を与えるのが難しい

講義の続き (問33)

Here is a graph based on data from surveys of several US and European companies that were done after the COVID-19 pandemic. It shows the number of days per week that employees spend at the office among those who work at least five days per week. What trend can we see happening with remote and hybrid work models?

これは、新型コロナウイルス感染症の流行後に行われた、アメリカおよびヨーロッパのいくつかの企業の調査データに基づくグラフです。少なくとも週5日働いている従業員のオフィスで過ごす週当たりの日数を示しています。リモートワークモデルやハイブリッドワークモデルではどのような傾向が見られますか。



問27 27

- ① 自宅とオフィスで同じ量の仕事をする
- ② リモートよりもオフィスで多くの仕事をする
- ③ リモートと対面式勤務を組み合わせる
- ④ 対面式勤務をするためにオフィスを訪れることはめったにない

正解⇒③

放送文の第1段落で、リモートワークモデルとハイブリッドワークモデルについての説明がされている。第4文の in which 以降 employees spend ... at the office 「従業員が勤務時間の一部をリモートで仕事をするのに使い、残りの時間はオフィスで対面式勤務をする」がハイブリッドワークの説明となり、リモートワークと対面式勤務の両方を、割合に関係なく組み合わせる就業形態を指す。したがって③が正解となる。

問28~31 28 29 30 31

- ① 効率の向上
- ② チームワークの減少
- ③ 仕事タスク
- ④ ストレスの減少
- ⑤ 極度の疲労の増加
- ⑥ 評価

正解⇒ 28 ④ 29 ② 30 ① 31 ⑥

放送文の第2段落、For example 以降で利点が、第3段落全体で欠点が言及されており、For one thing 以降で欠点の具体例が挙げられている。従業員側の利点は greater flexibility in their work 「仕事の自由度の向上」と less stress and burnout 「ストレスや極度の疲労の減少」なので、28には④「ストレスの減少」が入る。一方、欠点は less access to company resources and equipment 「会社のリソースや設備へのアクセスが少ない」と cannot work together as easily and may feel disconnected ... 「以前ほど容易に一緒に働くことができず、自分が…つながりを感じないかもしれない」なので、29には②「チームワークの減少」が入る。管理職（企業）側の利点は higher productivity among workers 「従業員の生産性の向上」と more efficient use of their time 「より効率的な時間の活用」なので、30

には①「効率の向上」が入る。一方、欠点は less ability to monitor their workers と more difficult for them to identify workers who deserve recognition 「評価に値する従業員を確認することがより困難である」なので、31には⑥「評価」が入る。

問32 32

- ① 全ての国で、ハイブリッドおよびリモートワークモデルは、対面式勤務よりも広まるだろう。
- ② 今後、より多くの企業がハイブリッドワークモデルからリモートワークモデルに移行していくだろう。
- ③ リモートワークモデルは通常、従業員に利益をもたらすが、ハイブリッドワークモデルは企業に利益をもたらす。
- ④ 新型コロナウイルス感染症の流行により、企業においてハイブリッドワークモデルの採用が遅れた。

正解⇒①

放送文の最終文 in the future 以降で将来の展望が述べられている。その後続く fully in-person jobs will be rarer than other work models everywhere 「世界中で、完全な対面式勤務は他のワークモデルよりもまれになるだろう」ということから、正解は①である。放送文中では、ハイブリッドワークモデルからリモートワークモデルへの移行については言及されていないので②は不適。リモートワークモデル、ハイブリッドワークモデルのそれぞれに、従業員と企業の両者にもたらす利益・不利益があるため③も不適。第2段落の冒頭で Both types of models became more popular due to the COVID-19 pandemic 「どちらのタイプのモデル（リモートワークとハイブリッドワークモデル）も、新型コロナウイルス感染症の流行により広まった」と述べられているため、④も不適。

問33 33

- ① 3カ国全てで、従業員の大多数は少なくとも週に1日リモートワークをしている。
- ② リモートワークのみを行う従業員の割合は、イギリスが最も高い。
- ③ アメリカでは少しでもリモートワークをする従業員は、そうでない人よりも多い。
- ④ 3カ国全ての従業員は、対面で働くよりもリモートで働くことが多い。

正解⇒③

講義の続きを聞き、図表と併せて考える問題である。放送文でも説明されている通り、グラフはアメリカ、イギリス、フランスにおける「従業員がオフィスで過ごす週当たりの日数」を示している。フランスでは「リモートワークなし」の従業員の割合が最も多く、70%近くに上るため、①は不適。オフィスワークが0日の従業員（リモートワークでのみ働く従業員）の割合は、アメリカが最も多いため②も不適となる。グラフを見ると、アメリカ以外は「リモートワークなし」の従業員の割合が最も多いため④も不適となり、正解は③。アメリカでは少しでもリモートワークをする従業員の割合は、「0日」「1~2日」「3~4日」の全てを足して、およそ65%となり、「リモートワークなし」の割合の35%弱より多い。

【語句・表現】

〈第1段落〉

- ・ remote 「遠隔の」
- ・ hybrid 「混種の、混合の」
- ・ be familiar with ~ 「～について知っている」
- ・ employee 「従業員」

- ・ on the other hand 「一方」
- ・ working hour 「就業時間」
- ・ carry out ～ 「～を実行する・遂行する」
- ・ the rest 「残り」
- ・ in person 「対面で」

〈第2段落〉

- ・ the COVID-19 「新型コロナウイルス感染症」
- ・ pandemic 「(病気などの) 大流行」
- ・ on 「～について」: research on ～ 「～についての研究」。
- ・ benefit 「利益」
- ・ manager 「管理職, 経営者」
- ・ flexibility 「自由度, 柔軟性」
- ・ cause 「～を引き起こす」
- ・ burnout 「バーンアウト, 燃え尽き症候群」
- ・ meanwhile 「一方」
- ・ productivity 「生産性」
- ・ efficient 「効率的な, 有能な」

〈第3段落〉

- ・ negative 「マイナスの」
- ・ aspect 「点, 側面」
- ・ for one thing 「一つには」
- ・ resource 「リソース, 資源」
- ・ equipment 「設備」
- ・ as easily 「(～と同じくらい) 容易に」: 後ろに続く as before 「以前と」が省略された表現。
- ・ feel disconnected from ～ 「～から切り離されている感じがする」
- ・ monitor 「～を観察する」
- ・ when necessary 「必要なときに」: when の後の代名詞主語と be 動詞 [本文では it (= help) is] が省略されている。
- ・ identify 「～を識別する・特定する」
- ・ deserve 「～に値する」
- ・ recognition 「評価, 表彰」
- ・ promotion 「昇進」

〈第4段落〉

- ・ despite 「～にもかかわらず」
- ・ disadvantage 「欠点」: = negative aspect.
- ・ adopt 「～を採用する」
- ・ fully remote 「フルリモートの」
- ・ in the near future 「近い将来に」
- ・ work-life balance 「ワークライフバランス」: 「仕事と生活の調和」を意味する。
- ・ be sure to do 「必ず～する」
- ・ coming 「これから来る, 今後の」
- ・ rare 「まれな, 珍しい」

〈講義の続き〉

- ・ based on ～ 「～に基づいて」
- ・ per 「～につき」
- ・ trend 「傾向」

〈ワークシート〉

- ・ entirely 「まったく」

- ・ management 「経営力」
- ・ flexible 「柔軟な」

〈選択肢〉

- ・ even 「同等の」
- ・ perform 「～を行う」
- ・ mixture 「組み合わせ」
- ・ rarely 「ほとんど～ない」
- ・ face-to-face 「対面で」
- ・ efficiency 「効率」
- ・ decreased 「減少した」
- ・ over time 「時がたつにつれて」
- ・ benefit 「～に利益を与える」: この文では動詞で用いられている。
- ・ lead to ～ 「～になる・至る」
- ・ delay 「遅れ」

第6問

A

【放送内容】

Jamie: What do you think of this painting, Taiga? I really like the colors.

Taiga: I don't really get it, Jamie.

Jamie: What do you mean?

Taiga: I just don't understand what the artist is trying to say. What's the message?

Jamie: Isn't that part of what makes art great? You have to think about what the artist wanted to say.

Taiga: Maybe, but this looks like the artist just put random spots of paint on the paper. I prefer this kind of painting over here.

Jamie: What do you like better about this one? I don't really like the dark mood.

Taiga: Well, I can tell what kind of feeling and message the artist wanted to give by looking at the expressions of the people in the painting.

Jamie: I see. You're more attracted to art that has a clear meaning and focus.

Taiga: I guess you're right. When I understand what's happening or what the painting is about, I appreciate the artist's skill more.

Jamie: If a painting has a nice use of color and technique, then I can enjoy it.

Taiga: Even that first painting?

Jamie: Sure! I think the artist used a unique technique to express her feelings.

ジェイミー: タイガ, この絵, どう思う? 私はこの色がすごく好きだな。

タイガ: ジェイミー, 僕にはよくわからないや。

ジェイミー: どういう意味?

タイガ: この画家が何を言おうとしているのかわからないってこと。伝えたいことは何だろう。

ジェイミー: それが芸術の素晴らしいところじゃない? 画家が何を伝えたかったか, 自分で考えなければいけない。

タイガ: たぶんね。だけど, これはただ単に紙の上に絵の具をでたらめに飛び散らせたように見

えるけど。僕はこっちにあるこういう絵の方が好きだな。

ジェイミー：この絵のどういうところが好きなの？ 私は暗い感じがあまり好きじゃないな。

タイガ：ええと、絵の中の人たちの表情を見れば、画家がどのような気持ちやメッセージを伝えたかったのかわかるよ。

ジェイミー：なるほど。あなたは明確な意味と焦点のある作品により引かれるということね。

タイガ：たぶんそうだと思う。何が起きているかとか、何が描かれているのかわかれば、画家のスキルの高さをもっと楽しめるよ。

ジェイミー：私は、色やテクニックがうまく使われていれば、絵を楽しむことができるわ。

タイガ：最初に見た絵でも？

ジェイミー：もちろん！あの画家は自分の気持ちを表現するための独特なテクニックを使ったんだと思うわ。

問34 34

タイガの意見の要点は何か。

- ① 芸術はわかりやすい方が良い。
- ② 暗い絵の方が魅力的である。
- ③ 熟練した画家は大変まれである。
- ④ 最高の芸術品はいつもきちんと描かれている。

正解⇒①

ジェイミーとタイガが展示された絵画を見て対話をしている。2種類の異なる技法で描かれた絵画をめぐる対話から、それぞれの芸術に対する好みや意見を聞き取る問題である。ジェイミーが最初に示した絵画に対して、タイガは、「画家が伝えたいことがわからない」と言い、ジェイミーは、「それを自分で考えるのが芸術の素晴らしいところ」と発言している。次にタイガが「こっちにあるこういう絵の方が好きだ」と違う絵をジェイミーに示し、「画家がどのような気持ちやメッセージを伝えたかったのかわかるところが好き」と答えている。したがって、①が正解となる。

問35 35

ジェイミーは芸術についてどう考えているか。

- ① 画家は、自分の感情を作品に反映させるべきではない。
- ② 色は絵の最も重要なものである。
- ③ 画家が伝えたいことについて考えるのは楽しい。
- ④ 明確な意味を持っている絵はつまらない。

正解⇒③

ジェイミーの三つ目の発言に「それ（画家が伝えたいことがわからないこと）が芸術の素晴らしいところじゃない？画家が何を伝えたかったか、自分で考えなければいけない」とあることから、正解は③である。

【語句・表現】

・ painting 「絵」

- ・ get 「～を理解する」
 - ・ random 「でたための」
 - ・ spot 「点」
 - ・ over here 「こっちに」
 - ・ mood 「雰囲気, ムード」
 - ・ expression 「表情」
 - ・ attract A to B 「AをBに引き付ける」
 - ・ focus 「焦点, 中心点」
 - ・ guess 「～と思う・推測する」: I guess ... は、自分の考えを述べるときに使う口語表現。
 - ・ appreciate 「～を高く評価する, ～の良さがわかる」
 - ・ skill 「技術」
 - ・ have a nice use of ~ 「～をうまく使う」
 - ・ unique 「独特の, 唯一無二の」
- 〈選択肢〉
- ・ attractive 「魅力的な」
 - ・ skillful 「熟練した」
 - ・ draw 「～を描く」
 - ・ neatly 「素晴らしく, きちんと」
 - ・ affect 「～に影響を及ぼす」
 - ・ aspect 「面, 側面」
 - ・ boring 「つまらない」

B

【放送内容】

- Yuna: Hey, Sarah. I saw that you paid for your food with your smartphone just now.
 Sarah: That's right, Yuna. Electronic payments make things so much easier.
 Yuna: I see. But are they safe? Aren't you worried that your information could be stolen?
 Sarah: Not as much as I worry about losing my wallet or having that stolen. What do you think, Larry?
 Larry: I agree. Even if my smartphone is stolen, they can't use the payment system without my password.
 Yuna: Isn't it easy to spend too much money, though? With cash, I can't use more than what I have in my wallet.
 Larry: That's true, Yuna, but it's the same as credit cards. You have to be careful.
 Austin: My parents use electronic payments for most things, but I haven't tried them yet. There are too many different kinds!
 Sarah: Don't worry, Austin. Most stores accept several types, so you can just pick one.
 Yuna: But what happens when a store only accepts cash?
 Larry: That's a bit of an inconvenience, but more stores are accepting electronic payments, and using electronic payments is becoming more and more popular.
 Austin: That's a good point, Larry. Lately, I see more stores that accept them than stores that don't.
 Sarah: Exactly. I never have to think about how much money I need to take before I go out.
 Larry: Or try to search for an ATM when I'm low on cash.
 Austin: Hmm ... Maybe I'll try setting one up when I get home.
 Yuna: You too, Austin? I guess I just don't trust technology.

- ユナ : ねえ、サラ。今、食事代をスマホで支払ったでしょ。
 サラ : そうよ、ユナ。電子決済って本当にいろいろ便利よ。
 ユナ : そうなんだ。でも安全なの？ 個人情報が盗まれるのではと心配じゃない？
 サラ : 財布をなくしたり、盗まれたりするほど心配じゃないよ。どう思う、ラリー？
 ラリー : 僕も同感だ。たとえスマホが盗まれても、本人のパスワードがないと決済できないからね。
 ユナ : でも、お金を使いやすくなり過ぎない？ 現金なら、財布に入っている以上のお金は使えないよ。
 ラリー : 本当にそうだね、ユナ、でもクレジットカードと同じだよ。気を付けなくちゃいけないってこと。
 オースティン : うちの両親はほとんどのことに電子決済を使っているけど、僕はまだ試したことないな。種類が多過ぎて！
 サラ : 心配ないよ、オースティン。ほとんどの店で数種類取り扱っているから、どれか一つを選べばいいのよ。
 ユナ : でも、現金しか受け付けない店だとどうなるの？
 ラリー : それがちょっと不便だけど、電子決済が可能な店は日々増えているし、電子決済はますます一般的になってきているよ。
 オースティン : 確かにそうだね、ラリー。最近は電子決済できない店よりもできる店の方が多いよ。
 サラ : その通りだね。外出する前に、お金をいくら持っていく必要があるか考える必要がない。
 ラリー : それに、現金をあまり持っていないときにATMを探す必要もない。
 オースティン : うーん…家に帰ったら設定してみようかな。
 ユナ : オースティン、あなたも？ 私は、テクノロジーを信用していないだけかな。

問36 36

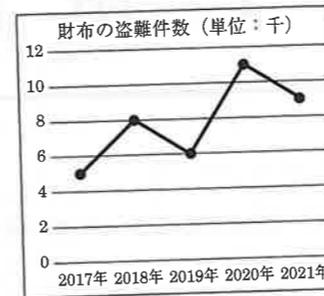
- ① 1人
 ② 2人
 ③ 3人
 ④ 4人

正解⇒②

電子マネーによる決済について、四人が会話をしている。それぞれの意見が聞き取れたかどうかを確認する問題である。ユナが、サラがelectronic paymentsを使うのを見たことで、電子決済についての会話が始まる。まず、情報が盗まれないかなどの安全性についてユナが質問していることから、ユナは電子決済を使っていないことがうかがわれる。サラが自分の意見を述べた後にラリーに意見を求める。ラリーは最初の発言でサラに同意を示し、「スマホが盗まれても、本人のパスワードがないと決済できない」と答えていることから、ラリーも電子マネーを使っていることがわかる。オースティンが「両親はほとんどのことに電子決済を使っているけど、自分はまだ試したことない」と発言していることから彼が使っていないことが明らかとなる。その後は、電子決済を導入する店が増えている、という内容で会話が進み、これまで電子決済の不安について質問してきたユナが、最後に「私は、テクノロジーを信用していない」と発言している。したがって、電子マネーを使っていないのはユナとオースティン、使っているのはサラとラリーの二人となり、正解は②。

問37 37

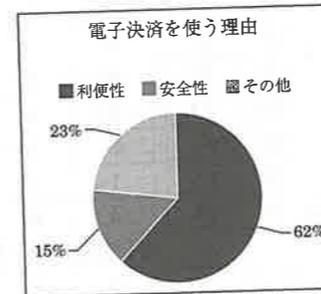
①



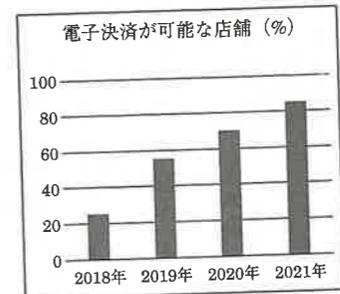
②

電子決済システムの利用者数の順位	
1	PayBuddy
2	BuyBuy
3	Pineapple Pay

③



④



正解⇒④

それぞれの意見を聞き取った上で、ラリーの考えの根拠まで把握できたかを確認する問題である。具体的な盗難件数には触れていないが、財布の盗難に言及したのはサラであるため①は不適。電子決済の種類が多過ぎることについて言及したのはオースティンとサラであるため②も不適である。サラ、ラリーの二人が電子決済は便利であると思っていることがうかがえるが、人々が電子決済を使う理由について話されたわけではないので③も不適。④は毎年電子決済のできる店が増加していることを示しており、ラリーの「電子決済が可能な店は日々増えている」という発言の根拠となるので正解である。

【語句・表現】

- ・ pay for A with B 「Bを使ってAの代金を支払う」
- ・ smartphone 「スマートフォン、スマホ」
- ・ electronic payment 「電子決済」: 現金を使わず電子的に支払うこと。
- ・ things 「物事」
- ・ (A) not as much as B 「(Aは) Bほどではない」
- ・ even if SV 「たとえ～でも」
- ・ a bit of ~ 「少しの～」
- ・ inconvenience 「不便」: ⇔ convenience 「利便性」。
- ・ That's a good point. 「確かにそうだね」: 直訳は「それは良い指摘だ」という意味で、相手が的を射ていることを言ったときなどに使う。
- ・ lately 「最近」
- ・ exactly 「まさに、そのとおり」
- ・ low on cash 「現金不足で、現金の持ち合わせが少ない」
- ・ get home 「帰宅する」